

データ番号	108
効用の種類	色・形による生理・心理的効用
見出し	高木が多いほど緑に関する満足感が高まる
出典	(『造園雑誌 53 (5)』1990) 「住居系市街地における高木が住民意識に与える影響」 近江慶光・丸田頼一
内容	神奈川県藤沢市鶴沼をケーススタディに、住居系市街地における高木が、住民意識にどのような影響を与えるかアンケート調査を行った結果、ha当たりの高木の本数と「身近な緑に関する*満足感」「身近な緑に関する**多少感」との間に高い相関関係が認められ、市街地に存在する高木には住民の緑に対する満足感と多少感を向上させる効果があることが認められた。 高木本数がha当たり12～15本程度あれば緑の満足感が高く、緑が多いと感じる。
備考	*満足感：身近な緑に関して①満足②やや満足③どちらとも言えない④やや不満⑤不満の5段階評価でアンケート調査し、①および②と回答した人の割合を調査区における満足感の指標とした **多少感：満足感と同様 ①多い②やや多い③どちらとも言えない④やや少ない⑤少ないの5段階でアンケート調査を行った